

WEEKLY Rotary 一宮中央RC REPORT



IMAGINE
ROTARY

2022～2023年度 RIテーマ

イマジン ローターリー

地区活動方針「未来を描こう、笑顔でつながろう」

～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

THE ROTARY CLUB OF ICHINOMIYA CENTRAL

- 創立1990年10月31日 ●承認1990年11月16日 ●事務局 〒491-0858 一宮市栄4丁目6番8号 一宮商工会議所ビル5F
- 例会日時 毎週水曜日（PM 6時～7時） TEL 0586-24-1959 FAX 0586-71-4390
- 例会場 一宮商工会議所ビル3Fホール E-mail: icrc@alpha.ocn.ne.jp URL: http://www.138crc.com
- ◇会長 秋田敬治 ◇会長エレクト 内田泰潤徳 ◇副会長 山田秀代 ◇幹事 宮田浩二 ◇クラブ会報委員長 浅井清史

令和5年5月10日（水）

第1501回（当年度第35回）例会

本日のプログラム

会員卓話
「カンボジア国際奉仕活動報告」
国際奉仕委員長
伊藤恒二郎君

第1499回例会（当年度第33回の記録）

- 令和5年4月12日（水）18：00～19：00
- 会場 一宮商工会議所ビル3Fホール
- 開会の点鐘 秋田会長
- ロータリーソング「我等の生業」
- 会長挨拶 秋田 敬治



皆さんこんばんは、本日も例会にご出席いただきありがとうございます。先週4月8日土曜日午後、愛西市文化会館で津島RC70周年記念事業・村松稔之（むらまつ としゆき）チャリティーコンサートにご招待いただきましたので家内と二人で参加してまいりました。日本を代表するカウンターテナーの高く澄んだ歌声に感動し、久しぶりに楽しく贅沢な2時間を過ごすことができました。

4月9日日曜日には名古屋マリオットアソシアホテルにて2023-24年度地区研修・協議会に次年度理事役員委員長の皆さんと参加いたしました。冒頭内田会長予定者が突然倒れるアクシデントがありましたが大事に至らず幸いでした。次年度の酒井ガバナーエレクトの点鐘に始まり所信表明・地区大会案内で本会議前半が終了。会場の数が不足本会議場で割り弁当を手を持って昼食を食べるといった初めてののおかしな体験でした。特別講演の後の分科会は第2・第3・第7と三つ掛け持ちでしたが、一番居心地の良い青少年奉仕の分科会に矢野委員長の後見役として同席いたしました。後輩である地区IA・RA・RYLA・青少年交換・学友の委員長さんたちに暗黙のプレッシャーをかけながら温かく見守り、有意義な90分間があったという間に過ぎてしまいました。

5月のお祝い事

- ♪会員誕生日おめでとう
加藤 恭章君（5日） 森 俊一郎君（7日）
矢野 智光君（23日） 小島 三男君（29日）
- ♪会員配偶者誕生日おめでとう
伊藤 紀子様（12日） 柴田 節子様（25日）
- ♪結婚記念日おめでとう
加藤恭章ご夫妻（8日） 伴 卓樹ご夫妻（14日）
矢野智光ご夫妻（18日）

本日はクラブアッセンブリーでの分科会の報告を気楽な気持ちで聞かせていただきます。次年度理事役員委員長予定者の皆さんご苦労様です、よろしく願いいたします。

これにて開会挨拶とさせていただきます。

□ニコボックス（ABC順）

- ☆秋田敬治君 雨模様で花粉症が落ち着いて少し楽になってきてます。今夜は黄砂が飛んでくる様です。気を付けましょう！先日の地区研修・協議会、参加された皆さんご苦労様でした。
- ☆伴 卓樹君 例会に出席できたので。
- ☆井上雅樹君 例会に出席できたので。
- ☆伊藤恒二郎君 健康であることに。
- ☆松前憲典君 先日の地区研修・協議会に欠席致しました。ご報告を聞いて、地区研修・協議会の勉強させていただきます。
- ☆宮田浩二君 次年度地区研修・協議会報告よろしくお祈りします。
- ☆森 眞君 小寒いような、汗ばむような日々が続いています。皆さん体調にお気をつけ下さい。
- ☆野田義広君 4月9日地区研修・協議会の参加、お疲れ様でした。
- ☆佐藤祐造君 桜は散りました。これからはツツジの季節です。
- ☆内田泰潤徳君 地区研修・協議会で体の調子が悪くなり皆様に迷惑をかけすみません。血圧が下がりましたがすぐ回復しました。原因は判ってまして対策しましたのでもう元気です。すみませんでした。
- ☆山田 満君 例会に出席できたので。

口青少年交換学生スピーチ



私はポリンです。最近暖かくなつてうれしいです。あと三か月くらいです。日本語の勉強して、そして日本での生活をしてみたいです。

口2023～2024年度地区研修・協議会報告



次年度会長 内田泰潤徳君



第一分科会 次年度幹事 野田 義広君

4月9日（日）名古屋マリオットアソシアホテルにて2023-24年度地区研修・協議会が開催されました。酒井ガバナーエレクトより「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！」をテーマにお話がありました。コロナ禍の3年、私たちを取り巻く環境が様変わりする中、人と人とのかかわり等が制限されました。これにより、時間や場所を選ばずコミュニケーションが取れる画期的で新しいテクノロジーがスタンダードとなりました。一方、当たり前になっていた対面でのコミュニケーションがこれほど私たちの生活に重要であったかを再認識させられる機会となりました。

石井地区会員増強委員長からは、会員の推移、対策についてお話がありました。2760地区において最多会員数は1998年6282名であった。コロナ発生直前の2019年には4817名、年間平均70名の減少になっている。コロナ禍の2022年は4554人とさらに減少している。酒井ガバナーエレクトの年度目標は、コロナ前の会員数に戻すことを提唱している。会員を増強し退会を防止す

るには、「会員にとって魅力あるクラブを作ること」や「全ての会員に居場所を作ること」が重要である。それが例会の活性化や親睦活動の楽しさが増えることとなり、奉仕活動にたくさんの会員が参加することに繋がっていく！との説明がありました。以上、有意義な研修会でした。



第2分科会 次年度副会長 山田 満君

第2分科会では、「クラブが中心！クラブ奉仕の重要性について」のテーマで話がありました。プログラムは「クラブにおける会員研修」「クラブ奉仕・運営の重要性について」でした。

1. クラブにおける会員研修

既存会員に対する研修と新会員に対する研修があり、既存会員には、情報が常に変化するため最新の情報をお伝えしていただくことが重要であり、会長、幹事、各委員長が地区から情報を仕入れ広めて頂きたい。次に新会員には、入会後もクラブでしっかりケアすることが必要であり、ロータリーが何をするとするか、ロータリー用語やルールや委員会活動の説明を一度に説明するだけではなかなか頭に入りません。紹介者は、委員会に配属したら安心して放置してしまいがちになります。そうすると、新会員は入会したが話が違つうとがっかりして疎外感が生まれます。入会后、やりがいのある仕事を与えて活躍できる場を設け、自分のいる場所を作ってあげることが大事であり、そうするとクラブのことを好きになり自分で活動するようになります。その役目を果たするのが第2分科会に出席している方々という事でした。

2. クラブ奉仕・運営の重要性について

クラブ奉仕とは会員の誰もが「素晴らしい真のロータリアン」になるための全ての取り組みです。クラブの機能として「素晴らしい真のロータリアン」を育て、支援し、増やすことであり、クラブ内で会員が取るべき行動として、一般会員は親睦、学び、成長、奉仕を主体とした交流を行い、クラブ・リーダーは、魅力的で価値あるクラブ運営を行うことです。要はクラブが会員に奉仕を行い、会員がクラブに奉仕を行うことであるということでした。ロータリーの親睦でロータリーが成長し、そしてロータリーが学ぶことによりリーダーが育ちクラブの発展につながるということでした。

	会員総数	38名	
出席報告	出席会員数	28名	73.68%
	他クラブ出席数	0名	
	修正出席率	前々回(3/29)	100%

社会見学例会



第1500回例会（当年度第34回の記録）

- 令和5年4月19日（水）10：10～
- 会場 中部国際空港セントレア
- 開会の点鐘 山田副会長

□ 会長挨拶 秋田 敬治

皆さん本日も例会にご出席いただきありがとうございます。本日は社会奉仕・職業奉仕・環境保全の3委員会合同での社会見学会です。長橋社会奉仕委員長のお骨折りで「中部国際空港見学会」を開催することとなり、移動の車中での開会となりました。秋田が仕事の都合で現地参加となりますので、山田副会長から開会挨拶をさせていただきます。

先週末4月15日16日土曜日曜はワールドフード+ふれ愛フェスタの西尾張分区分ブース運営に多くの会員の皆様にご協力ご参加いただきありがとうございました。特に松岡ガバナー補佐・尾関WFF実行委員長・永田実行副委員長・大塚分区分幹事・山田満分区分副幹事には2日間常駐いただきご苦労様でした。また中井さん「東洋住建・ひのきの寄木細工」永田さん「和菓子いちの だら焼き」も大好評でした、地区内9分区分ブースの中でも一・二（いちに）を争う人気度・元気であったと自負しております、ご協力誠にありがとうございました。これにて開会挨拶とさせていただきます。

□ ニコボックス（ABC順）

★秋田敬治君 本日は社会奉仕委員長、長橋さんの段取りでセントレア見学会を開催することができました。うなぎを食べた後の腹ごなしに空港内のツアーでしっかり歩きましょう！

★松前憲典君 今日にはボーイングを見ましたが素晴らしいのにびっくりしました。天ぷらも



うなぎも美味しかったです。長橋委員長、ありがとうございます。

★長橋國和君 本日はセントレアツアーに沢山の方々が参加して下さいありがとうございました。

★佐藤祐造君 セントレア見学会ありがとうございます。また車椅子お世話になっております。心より御礼申し上げます。

★内田泰潤徳君 セントレア空港での発着滑走路を見て感激です。お客様も増えて空港も活気づいているようですね。

★山田秀代君 長橋さん、今日はありがとうございます。



	会員総数	38名	
出席 報告	出席会員数	38名	100%
	他クラブ出席数	0名	
	修正出席率	前々回 (4/5)	100%



第10回ワールドフード+ふれ愛フェスタ (WFF)
4月15日(土)~16日(日) 名古屋栄久屋大通り公園
【西尾張分区ブース出店】
“いちの” のどら焼き販売と
廃材を使った寄木細工の実演販売



2023. 3. 25~26
地区RYLAセミナー
青少年交換学生
ポリンさん参加



2023. 4. 14 2023学年度米山奨学生オリエンテーション
秋田会長出席、奨学生トゥオンさん (ベトナム)

**** 青少年交換学生だより ****

柴田采芽さん (留学生フランスより) 2023. 4

授業の内容が少しだけ理解できるようになりました。先生が言っていること全てを理解することはできませんが、先生が口頭で言うことが少しずつ聞き取れるようになってきて、板書が以前よりも簡単になりました。

音楽や体育、英語やスペイン語の授業は以前よりも授業に参加できるようになったと感じます。

私にとって一番難しい教科は歴史地理です。使われる単語も普段使わないような難しい単語が多く、今までは年代(〇〇〇〇年〇月〇日)しか聞き取ることができませんでしたが、授業で使われるであろう、例えば la guerre (戦争)、la population (人口)、などといった単語を覚えてから授業に参加したら、なんの話をしているかさっぱりわからなかった歴史地理の授業も、なんとなく何の話をしているか掴めるようになりました。

休日にはよくドライブに行きます。今月はバスクの街や、スペインに連れて行ってもらいました。私の家からスペインまでは車で20分ほどで着きます。サンセバスチャンという海が綺麗な街に連れて行ってもらいました。日本では車で国境を超えることができないので新鮮な経験でした。留学先以外の国にも行くことができるのはヨーロッパ留学のいい所の一つだなと思いました。素敵な経験をさせてくれたファミリーに感謝しています。



私のファミリーは日本のことを全く知りませんでした。私が家に来てから興味を持ってくれて、最近をよく一緒に味噌汁を作ります。

自分の国に興味を持ってもらえるのは嬉しいことですし、日本人として誇りに思います。今はフランスで日本の文化を伝えています。日本に帰った後には多くの日本人にフランスの文化を伝えていきたいです。

最後に日本に帰る日程についてですが、予定していた便が欠航になり、新しい航空券を取り直すことになりました。ホストファミリーとも相談して、可能な限り長く、フランスに滞在できる航空券を探しています。詳しい便の日時はまだ決めていませんが、7月下旬にエールフランス航空を利用して日本に帰る予定です。

次回の例会予定

17日の例会変更

2023年5月20日(土)~21日(日)

一泊親睦旅行 京都高山寺
バス集合13:50 一宮商工会議所ビル

第3分科会 次年度公共イメージ向上委員長 加藤辰己君

この委員会の目的はロータリーの活動を一般社会に広く知っていただくことにあります。皆さんに活動を知っていただき、この活動に賛同する方々から、さらに仲間を（会員を）増やしていこう・・・というものです。

100年以上もロータリーが行ってきた奉仕活動が、一般市民の皆さんに知られていない、あるいは一般社会ではロータリーが何をしている団体だか分からないといった現状を打破して行こう・・・というものです。

第3分科会においては、各クラブが実践している活動をいかにして一般社会に知らしめるか・・・という方法についての説明がありました。特別に目新しいものはなかったのですが、近年のウェブマーケティングにとって欠かせないSNSの利用について話が出ました。中でも利用度の高いFacebookやYouTubeなどの利用をはじめ、これ以外の多くあるSNSも説明されました。また、新聞・雑誌・テレビなども有効な手段であるので、各クラブの活動を事前に地区委員会に報告いただければ、積極的に報道を働きかけますので、情報提供をしてくださいとのことでした。

最後に、地区協議会開催の関係者挨拶が長すぎて、研修会の時間が極めて少なく、研修になりませんでした。



第4分科会 次年度社会奉仕委員長 鶴飼 俊光君

第4分科会は、社会奉仕・国際奉仕・環境保全委員会の3委員会合同の分科会で、伊藤国際奉仕委員長と出席しました。今年度のテーマは「プライドを持ってロータリアンのブランドで奉仕活動を」サブテーマは“未来に繋がる奉仕活動”と意欲的なテーマです。

社会奉仕は、発送したCDにヒントがあると簡単な説明でした。

環境保全は、地区事業の前日に行われた“佐久島クリーン大作戦”の紹介がありました。インターアクト、ローターアクト（99名参加）と共に午前には砂浜清掃後、午後には海洋環境保全の講座の事業でした。

国際奉仕は、当ロータリークラブが2012年から10年続いているカンボジア奉仕活動をプロジェクターでの紹介と、地区事業のラオスでの活動や、今後パキスタン、バングラデシュ等の深刻な水不足解消の支援を掲げています。

最後に、奉仕プロジェクトを通じて世界を変えたいというロータリーのコミットメントを分かちあうロータリアン以外の人たちから成るグループRCC（ロータリー地域社会共同隊）の立ち上げの要望があり、今後はグローバルな奉仕活動の方向性を感じました。



第5分科会 次年度職業奉仕委員長 梶原 誠二君

開会にあたり、次期地区副幹事の芳賀孝之氏より、「職業奉仕とはロータリーの原点であり活動の根幹のでもあり大変重要な委員会です。」から始まり大勢の方々の熱い思いのご挨拶がありました。

引き続き、研修発表では、【「四つのテスト」に照らし合わせた会社案内】というテーマで次期地区職業奉仕委員長の鬼頭秀幸氏と同副委員長の加藤徹氏のお二人、ご自身の会社での取り組み事例の発表がありました。主催者皆さんの熱心な取り組みに感激し、あつという間の分科会でした。

ハーバード・テーラーは、1932年倒産寸前のアルミニウム会社再建のために考え実践した「四つのテスト」のスローガンを掲げ事業を繁栄に導きました。

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

職業奉仕は自分の職業「に対して」ではなく自分の職業「を営むうえで」奉仕の心を持って職業を営み、職業上の高い倫理基準、高潔な精神で仕事に取り組み、仕事の中に「世のため、人のため」という奉仕の心が必要となります。思いやりの心で他人の立場を考え、他人のためになるよう尽くすことでもあります。即ち、奉仕の心は「ロータリーの心」ということになります。

私自身もこの一年、特に「四つのテスト」を意識しながら仕事に従事していきたいと思えます。

第6分科会 次年度ロータリー財団委員長 森 眞君

例年のごとく補助金システムについての解説と補助金を利用しての事業推進、積極的寄付の要望という内容ではありましたが、ポリオ撲滅の難しさをつくづく感じます。そんな分科会の中から、特に2点に絞り報告させていただきます。

まず、地区補助金申請可能額は自クラブの3年前の年次基金寄付総額の25%ですが、事業への自クラブの拠出金の必要が無くなったというのが新ルールです。もちろん拠出金を加えて事業規模を大きくすることも可能です。

次に年次基金寄付の目標額を会員一人当たり150ドル、そしてポリオプラス基金へ30ドル、計180ドルとしています。皆様のご理解とご助力をよろしくお願いいたします。



第7分科会 次年度青少年奉仕委員長 矢野 智光君

第7分科会では、テーマ「プライドを持ってリーダーを育てよう」～青少年の未来へ～について、次年度運営報告が行われました。

青少年奉仕におけるミッションは、若い次世代のリーダーを育てることです。我々が、お金をだすだけではなく、いろいろな分野で活動をして「体験」をすること、そして、汗をかくだけでなく頭も使うこと、RCの活動の後、個人に返っても活動することが求められます。青少年奉仕関係では、主に4つの委員会があります。

①インターアクトについて

コロナ禍で途切れたインターアクトクラブ活動への積極サポートを実施していきます。

②ローターアクトについて

次年度地区テーマ「remake」です。ロータリアンの会社の社員さんを企業派遣したり、ロータリアンの親族の入会をすすめます。

③RYLA委員会について

RYLAセミナーは、社会貢献を目指す仲間たちと出会い、互いにつながり、協力しながら、リーダーとして必要な知識とスキルを学ぶ絶好の機会です。

④青少年交換について

世界100か国以上で実施されている国際ロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、言語と文化を学びながら、海外に友人をつくり、世界市民として自覚を養うことができます。

どの委員会の報告も、子どもの「笑顔」がとても印象的でした。希望をもてる未来の為に積極的にサポートをしていきたいと思いました。

第8分科会 次年度米山記念奨学委員長 長橋 國和君

今回の米山奨学委員会研修会は全体会議の後、第8分科会は51階にて開催されました。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン（ロータリークラブ会員）の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。と地区の委員長より話があり、2760地区は会員数は全国一位なのだが、米山奨学寄付金は一位ではない、クラブ会員にたくさんの寄付金の要望を促すよう言われました。次年度は奨学生を当クラブにて受け入れる予定なので、奨学生に月一の例会参加と奨学生の国と日本との架け橋となるよう担当クラブは友好に心がけるよう考えていこうと思いました。

第9分科会 入会3年未満の新会員 長屋 慎二君

「テーマは、ロータリーを知ろうです。」

第9分科会では、服部良男パストガバナー、神野重行パストガバナー、伊藤靖祐パストガバナーによる3人のトークセッション形式で行いました。

ロータリーへ入会したきっかけ、仲間の見つけ方や仲間との関わり方、ロータリーを楽しみながら仕事も楽しめる方法、親睦活動体験談、WF F活動などを3名のパストガバナーから経験談を語ってくれました。

主観ではあるが、世界（アルファベット）ロータリーと日本（カタカナ）ロータリーとはいったい何が違うのか？

世界（アルファベット）ロータリーは、個人主義に基づいた「個が主体」のロータリーである。そして日本（カタカナ）ロータリーは、集団主義に基づいた「クラブが主体」のロータリーである。日本と世界のロータリーでは関わり方で大きな違いがある。

四つのテストやモットーは、ロータリアンに対する個のメッセージである。寄付は感謝である。半面教師からはリーダーシップが学べる事が多く成長させてもらった。ロータリーの10徳に「人生が豊かになる」を付け加えて11徳を楽しんでもらいたい。



第10回理事会報告

報告事項

- ①ニコボックス残高 972,000円
 - ②ロータリーレート 1ドル 133円（前月末136円）
 - ③2023～24年度地区補助金申請書提出
 - ④地区より委嘱状（米山奨学生受入れ）
世話クラブ 一宮中央ロータリークラブ
カウンセラー 秋田敬治君
奨学生 グエン、ティホアイトゥオンさん（ベトナム）
期間 2023年4月1日～2025年3月31日 2年間
 - ⑤2023学年度米山奨学生オリエンテーション
2023年4月13日（木）13：30～16：30
ホテルメルパルク名古屋
秋田カウンセラー（登）5,000円
 - ⑥カンボジア職業訓練施設に寄贈看板設置
過去2年間の地区補助金事業で建設
看板代8,800円
 - ⑦第3回西尾張分区会長・幹事会
2023年6月9日（金）
17：30～会議18：00～懇親会 菊水
秋田会長・宮田幹事（登）11,000円×2名
 - ⑧大江川クリーン作戦の終了
- 審議事項
- ①第1497回例会（3/29花見例会）の決算に関する件
 - ②第1502回例会（5/20～21泊親睦旅行）の予算に関する件
 - ③新会員の入会に関する件
 - ④青少年交換学生の旅行代金一部負担に関する件

【全て承認】

※議事録閲覧希望の方は事務局にお申し付け下さい。